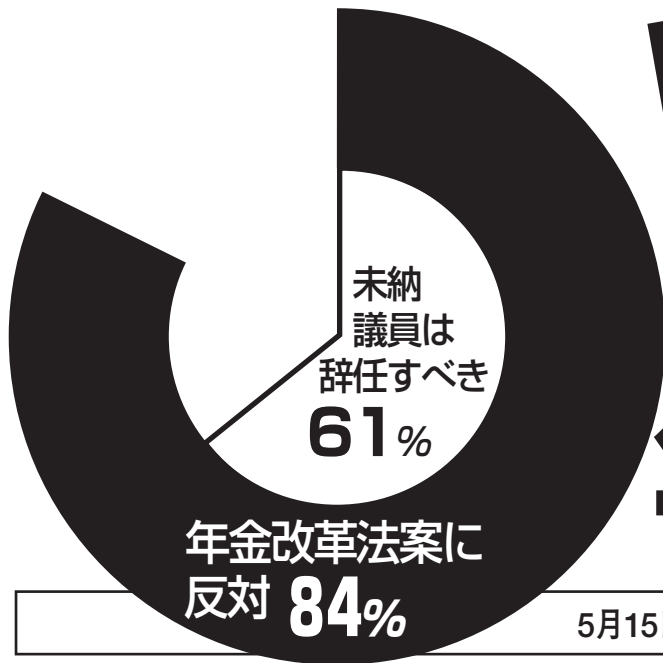


もう廃案 しかかない 年金改悪法案

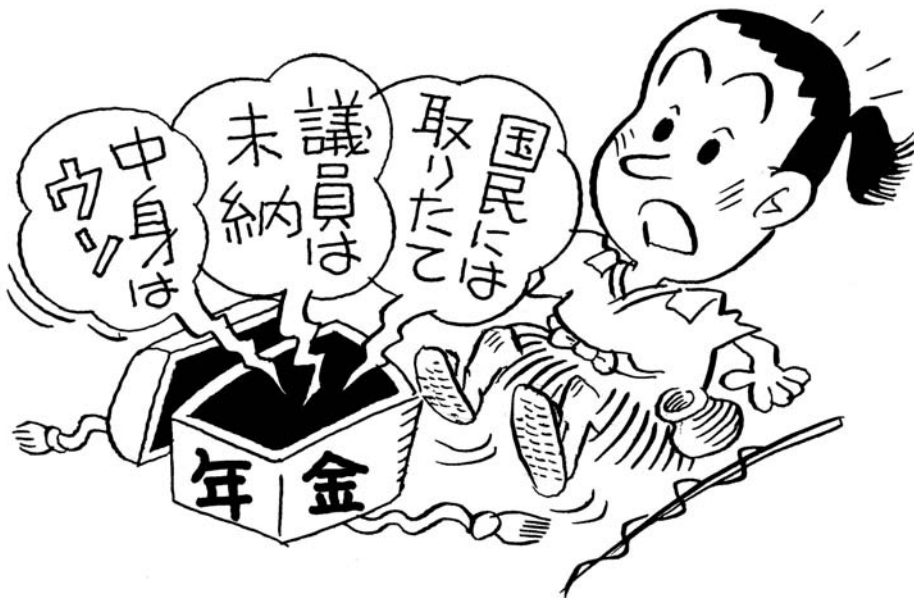
ウソとごまかし



5月15日放送の日本放送系「ウェークアップ!」のメール投票

巷の声は

「一から出直せ」
「自公はけじめを」



日本テレビ系「ウェークアップ!」では「百年安心」どころか「百年不安」だ」との声も上がりました。同番組で「うそをついていたことが発覚」と紹介したのが50%の給付を保障・保険料に上限を設けるという年金改悪の身。

国民に重大な事実を隠そうとする点では未納問題でも同じです。法案の提出責任者である閣僚の保険料未納問題が明るみに。福田官房長官などの未納状況公表は法案が衆院厚労委員会で強行採決された直後。強行採決を推進した衛藤厚労委員長や、谷畑孝、森英介両厚労副大臣は衆院通過前には未納をひた隠しにしました。

国民の怒りは頂点に、衆議院で「3党合意」と称した法案の修正案に賛成した民主党も「廃案に全力つくす」と言及するまでになっています。

年金法案はもう廃案しかありません。年金改悪を許さない国民の怒りの声を国会に届けましょう。

こちらに声あげ、政治を変えよう

全労連
ZEN/ROREN

全国労働組合総連合
〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館内
TEL 03-5842-5611 FAX 03-5842-5620
ホームページ http://www.zenroren.gr.jp

2004.6

「忘れてた」とは言わせない

「百年安心」ってなんだっただの……

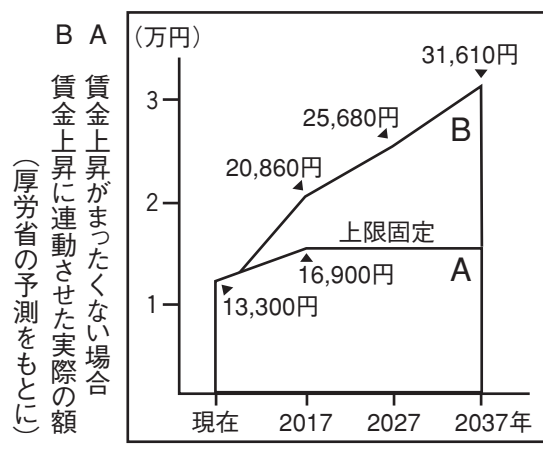
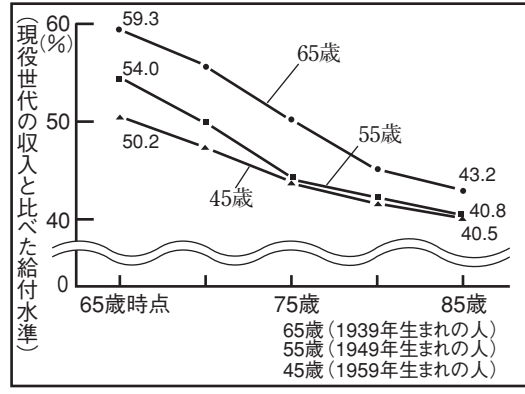
年金改悪法案の正体は、当初説明していた内容よりも、もっとひどいものであったということがはっきりしてきました。政府は、国民に負担増を押しつけ、給付を減らす大改悪の法案を強行するさいに、その害悪を少しでも小さく見せかけようと、「二つのごまかし」があったのです。

未納
未加入



「給付率50%確保」のウソ

政府は、夫が会社員で40年間厚生年金に加入、妻が専業主婦の場合、「給付の水準は、50%を確保」と説明しました。こうした世帯は1%にも満たず、2023年以降に年金を受け取る現在46歳以下の場合、50%を上まわるのはたった1年、その後は毎年減らされて、40%にまで落ち込むことがあきらかに。「50%を保障する」というのは、「ごく一握り」の人の「たった1年」のことだったのです。



B A
賃金上昇がまったくない場合
賃金上昇に連動させた実際の額
(厚生省の予測をもとに)

「保険料上限固定」のウソ

政府は「国民年金は、16900円を上限にする」と説明。しかし賃金が上がる場合は20860円に。その先も賃金が上がればどんどん上がっていく。これが値上げの正体です。いま、国民年金の未納や未加入や免除の方が、あわせて1千万人。際限のない負担増が押しつけたら、年金制度の「安心」どころか、土台から制度が崩壊します。25日には厚生年金の上限18.3%も、引き上げがありうると坂口大臣は答弁しています。

年金未納閣僚はただちに辞職を